

2021年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年8月6日

上場会社名 カルナバイオサイエンス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4572 URL https://www.carnabio.com
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)吉野公一郎
 問合せ先責任者 (役職名)取締役経営管理本部長 (氏名)山本詠美 (TEL)078(302)7075
 四半期報告書提出予定日 2021年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有(機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第2四半期の連結業績(2021年1月1日~2021年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第2四半期	430	△25.8	△777	—	△774	—	△776	—
2020年12月期第2四半期	579	△76.4	△375	—	△380	—	△397	—

(注) 包括利益 2021年12月期第2四半期 △765百万円(—%) 2020年12月期第2四半期 △400百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第2四半期	△62.56	—
2020年12月期第2四半期	△32.60	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第2四半期	3,662	3,096	84.5
2020年12月期	4,835	3,824	79.0

(参考) 自己資本 2021年12月期第2四半期 3,093百万円 2020年12月期 3,820百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年12月期	—	0.00	—	—	—
2021年12月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年12月期の連結業績予想(2021年1月1日~2021年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	923	△18.5	△1,811	—	△1,816	—	△1,825	—	△147.19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年12月期2Q	12,436,900株	2020年12月期	12,407,100株
2021年12月期2Q	5,124株	2020年12月期	5,124株
2021年12月期2Q	12,411,031株	2020年12月期2Q	12,195,162株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社は、創薬事業においては、アンメット・メディカル・ニーズの高い未だ有効な治療方法が確立されていない疾患を中心に、特にがん、免疫・炎症疾患を重点領域として画期的な新薬の開発を目指して研究開発に取り組み、また、創薬支援事業においては、新たなキナーゼ阻害薬創製のための製品・サービスを製薬企業等へ提供するため、営業活動に取り組んでおります。

当社の2つのBTK阻害剤ポートフォリオのうち、免疫・炎症疾患を対象として開発を進めているBTK阻害剤AS-0871につきましては、健常人を対象としたフェーズ1試験の単回投与用量漸増試験（SAD）パートの投与が2020年中に完了し、全ての用量で安全性および忍容性を確認し、薬物動態も良好でした。また、AS-0871が炎症・免疫をどの程度抑えることができるのかという予備検討を実施するため、AS-0871投与後の被験者の血液を用いて、抗体の産生に関わるB細胞及び炎症反応に関わる好塩基球の活性化を検討した結果、AS-0871の用量依存的にB細胞及び好塩基球の活性化が抑制され、100mg以上の用量で薬効を得るのに十分な抑制効果が示されました。これらの結果から、AS-0871は、経口投与においてB細胞及び好塩基球の作用を抑制し、炎症性免疫疾患の治療薬として効果が期待できることを示唆しています。これらの結果を基に、2021年下期から、新製剤を用いたフェーズ1試験の反復投与用量漸増試験（MAD）を開始する準備を進めています。

イブルチニブを代表とする第1世代の共有結合型BTK阻害薬耐性の血液がんを治療標的とした次世代BTK阻害剤AS-1763については、2021年4月末より健常人を対象としたフェーズ1試験の単回投与用量漸増試験（SAD）パートにおける投与を開始し、7月中に用量漸増パートの全ての投与が完了しています。本試験は最大で延べ56名の被験者を対象に安全性および忍容性、副次的に薬物動態および薬力学を評価することを主要目的としています。現在、本SAD試験の解析作業を実施しており、当該結果を基に、米国にて慢性リンパ性白血病およびB細胞リンパ腫の患者を対象としたフェーズ1b試験を実施する予定です。AS-1763は、中華圏（中華人民共和国および台湾）における開発・商業化の権利を中国バイオノバ・ファーマシューティカルズ（以下「バイオノバ社」）に供与する契約を締結しており、当社はバイオノバ社が中国で実施するAS-1763に関するより多くの臨床試験データを収集・利用することで、AS-1763の治験を加速できると考えております。当社は、中華圏における今後のAS-1763の開発進捗に伴い、バイオノバ社から最大で約205百万ドル（約215億円）を受け取ることになり、さらに、AS-1763の中華圏における上市後の売上高に応じた最大2桁の料率の段階的ロイヤリティを受け取ります。

CDC7阻害剤AS-0141につきましては、2021年上期に、日本国内において切除不能進行・再発又は遠隔転移を伴う固形がん患者を対象としたフェーズ1試験を開始しました。フェーズ1試験は、用量漸増パート及び用量拡大パートの2段階に分かれており、用量漸増パートでは、薬剤の投与量を増やしながら安全性と忍容性を評価し、また薬物動態や薬力学についても調べます。本パートで決定した最大耐用量と推奨用量に基づき、拡大パートでは、より多くの患者で本剤の推奨用量での安全性及び有効性を評価いたします。

創薬支援事業においては、当第2四半期連結累計期間の売上高は430百万円（前年同期比18.4%減）となりました。2019年6月に創薬事業において締結した米国のギリアド・サイエンシズ社との新規がん免疫療法の創薬プログラムに関するライセンス契約に関連し、当社による当該プログラムの開発をサポートするため、当社の脂質キナーゼ阻害剤に関する創薬基盤技術を一定期間、独占的に当社に供与することとなり、当第2四半期連結累計期間の売上には、これに関連した売上も含まれています。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は430百万円（前年同四半期比25.8%減）、営業損失は777百万円（前年同四半期は375百万円の営業損失）、経常損失は774百万円（前年同四半期は380百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失は776百万円（前年同四半期は397百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメント別の業績は次の通りです。

①創薬事業

当第2四半期連結累計期間において、創薬事業における売上高の計上はなく（前年同四半期の売上高は53百万円）、臨床試験費用を中心に研究開発へ積極的に投資したことにより、営業損失は922百万円（前年同四半期は613百万円の損失）となりました。

②創薬支援事業

キナーゼタンパク質の販売、アッセイ開発、プロファイリング・スクリーニングサービス及びセルベースアッセ

イサービスの提供等により、創薬支援事業の売上高は430百万円（前年同四半期比18.4%減）、営業利益は145百万円（前年同四半期比39.0%減）となりました。売上高の内訳は、国内売上が109百万円（前年同四半期比12.4%減）、北米地域は241百万円（前年同四半期比27.4%減）、欧州地域は44百万円（前年同四半期比20.5%増）、その他地域は34百万円（前年同四半期比7.0%増）であります。

（2）財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は3,662百万円となり、前連結会計年度末と比べて1,172百万円減少しました。その内訳は、現金及び預金の減少1,086百万円等であります。

負債は565百万円となり、前連結会計年度末と比べて445百万円減少しました。その内訳は、1年内返済予定の長期借入金の減少18百万円、未払金の減少209百万円、社債の減少14百万円、長期借入金の減少70百万円等であります。

純資産は3,096百万円となり、前連結会計年度末と比べて727百万円減少しました。その内訳は、株式の発行による資本金及び資本剰余金の増加38百万円、親会社株主に帰属する四半期純損失776百万円の計上等であります。

また、自己資本比率は84.5%（前連結会計年度末は79.0%）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年2月12日公表の「2020年12月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」に記載の2021年12月期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,299,142	3,213,070
売掛金	129,175	73,910
商品及び製品	66,178	68,930
仕掛品	14,555	7,226
原材料及び貯蔵品	23,789	34,445
その他	175,352	124,697
流動資産合計	4,708,193	3,522,280
固定資産		
有形固定資産	53,330	58,373
無形固定資産	3,613	3,210
投資その他の資産	70,218	78,629
固定資産合計	127,162	140,213
資産合計	4,835,356	3,662,494

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,517	80
1年内償還予定の社債	28,000	28,000
1年内返済予定の長期借入金	161,897	143,638
未払金	343,956	134,955
未払法人税等	103	14,053
その他	191,719	50,009
流動負債合計	727,194	370,736
固定負債		
社債	60,000	46,000
長期借入金	179,887	109,873
資産除去債務	36,839	37,136
その他	7,425	2,023
固定負債合計	284,151	195,033
負債合計	1,011,346	565,770
純資産の部		
株主資本		
資本金	558,829	577,975
資本剰余金	4,310,038	4,329,185
利益剰余金	△1,038,476	△1,814,948
自己株式	△222	△222
株主資本合計	3,830,169	3,091,989
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	21	△271
繰延ヘッジ損益	△1,176	787
為替換算調整勘定	△8,554	666
その他の包括利益累計額合計	△9,709	1,183
新株予約権	3,550	3,550
純資産合計	3,824,010	3,096,723
負債純資産合計	4,835,356	3,662,494

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年1月1日 至2021年6月30日)
売上高	579,703	430,010
売上原価	80,645	69,043
売上総利益	499,057	360,967
販売費及び一般管理費	874,328	1,138,307
営業損失(△)	△375,271	△777,339
営業外収益		
受取利息	79	57
受取配当金	193	198
助成金収入	785	—
補助金収入	—	7,200
為替差益	2,476	—
その他	93	789
営業外収益合計	3,627	8,245
営業外費用		
支払利息	4,204	2,194
支払保証料	741	726
株式交付費	4,373	208
為替差損	—	2,476
その他	12	30
営業外費用合計	9,331	5,637
経常損失(△)	△380,975	△774,731
特別利益		
新株予約権戻入益	1,000	—
特別利益合計	1,000	—
特別損失		
減損損失	16,371	6,108
特別損失合計	16,371	6,108
税金等調整前四半期純損失(△)	△396,346	△780,840
法人税、住民税及び事業税	1,240	1,371
法人税等調整額	△71	△5,739
法人税等合計	1,168	△4,367
四半期純損失(△)	△397,514	△776,472
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△397,514	△776,472

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
四半期純損失(△)	△397,514	△776,472
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	361	△292
繰延ヘッジ損益	—	1,963
為替換算調整勘定	△3,308	9,221
その他の包括利益合計	△2,947	10,892
四半期包括利益	△400,461	△765,579
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△400,461	△765,579

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年1月1日 至2021年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△396,346	△780,840
減価償却費	5,694	9,079
減損損失	16,371	6,108
受取利息	△79	△57
受取配当金	△193	△198
支払利息	4,204	2,194
株式報酬費用	25,226	29,565
助成金収入	△785	—
補助金収入	—	△7,200
株式交付費	4,373	208
新株予約権戻入益	△1,000	—
為替差損益(△は益)	△63	△5,737
売上債権の増減額(△は増加)	25,951	58,195
たな卸資産の増減額(△は増加)	7,599	△6,079
仕入債務の増減額(△は減少)	△3,173	△1,437
未払金の増減額(△は減少)	△169,917	△194,505
前受収益の増減額(△は減少)	△240,631	△130,383
その他	△6,399	8,716
小計	△729,171	△1,012,370
利息の受取額	79	57
利息の支払額	△4,054	△2,104
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△90,615	43,880
補助金の受取額	—	7,200
その他	785	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	△822,976	△963,337
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△38,747	△34,184
無形固定資産の取得による支出	△4,117	△155
投資活動によるキャッシュ・フロー	△42,864	△34,339
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△135,486	△88,273
社債の償還による支出	△14,014	△14,014
新株予約権の行使による株式の発行による収入	1,023,423	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	873,923	△102,287
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,559	13,891
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	5,523	△1,086,072
現金及び現金同等物の期首残高	4,915,056	4,299,142
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,920,579	3,213,070

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第2四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)

株主資本の著しい変動

当第2四半期連結累計期間において、新株予約権の権利行使により、資本金が517,021千円、資本剰余金が517,021千円、当社の取締役及び従業員に対する譲渡制限付株式報酬として新株式の発行を行ったことにより、資本金が31,807千円、資本剰余金が31,807千円それぞれ増加しました。

また、2020年3月26日開催の定時株主総会の決議に基づく資本金の額の減少及び剰余金の処分により、資本金が4,647,466千円減少し、資本剰余金が285,718千円、利益剰余金が4,361,748千円増加しました。

この結果、当第2四半期連結会計期間末において、資本金が558,829千円、資本剰余金が4,310,038千円、利益剰余金が△324,958千円となっております。

当第2四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)

該当事項はありません。